

相談ヒアリングシート

日付

話し合うテーマ
このことは、誰に伝えていきますか？誰に伝えたいですか？
伝えている人：
伝えたい人：
相談したいこと/ 困っていることは？
希望することは？
その他、知っておいてほしいこと／伝えたいこと

記入例

相談ヒアリングシート

日付 20XX年6月28日

話し合うテーマ

修学旅行の個別入浴相談

このことは、誰に伝えていますか？誰に伝えたいですか？

伝えている人：山中、上野、岩下、渡辺、小賀

伝えたい人：この5名のみ。他の教職員や保護者、生徒には秘匿を希望。

相談したいこと/困っていることは？

修学旅行で、女子の浴場に入るのがつらい。
個別で入浴したい。そのことを親には知られたくない。
また、個別入浴する理由については他の生徒や教職員には伝えたくない。

希望することは？

個別で入浴したい。そのことを親には知られたくない。
また、個別入浴する理由については他の生徒や教職員には伝えたくない。

その他、知っておいてほしいこと／伝えたいこと

以下、先生たちに自分の言葉で伝えたいという希望で本人からの文章です。

自分は、女でいるのがつらいです。男、という感覚かは分かりませんが、自分の女子の身体には違和感があります。普段、自分の身体を見るのも嫌で、修学旅行で女子の風呂に入ることを想像すると、それは無理だという感覚があります。修学旅行は楽しみにしていたので、一人で入浴できるようになって、参加できたらうれしいです。よろしくお願いします。

早瀬さんのはじめての相談（LGBTQ/SOGIE相談対応ハンドブックP9～10）に際して、山中先生が早瀬さんにも確認しながら書いたヒアリングシートです。記入の際に、以下のポイントを大事にしてください。

このヒアリングシートは機微な個人情報が多く含まれます。保管の方法は、他の機微な個人情報が含まれている資料同様に他の人が勝手にみられないように、紙の場合は鍵をかけた場所に保管したり、オンラインで保存する場合はパスワードをかける等、管理を徹底してください。万が一他の人がこの用紙を目にした時のリスクを考えて、生徒の名前や年組などは書かないことが望ましいです。

テーマは空欄でも構いませんが、同時期に複数の児童生徒からの相談が進行したり、同じ児童生徒の相談でも相談内容によって共有範囲が変わりうるため、相談を識別するために適宜活用ください。

アウティング（本人の同意なく第三者へセクシュアリティを暴露すること）を避けるために、誰がこのテーマを知っているか、伝えてよいのかを明確にしましょう。

本人も「どこに困っているのか」を言語化できないことがあります。具体的な場面や事例を提示しながら対話を進める場合は、「LGBTQ/SOGIEインクルーシブな学校・学級づくりハンドブック」の項目に沿って相談したいこと/困りごとを聞き取ることもできます。

1) 声かけのなかでのジェンダーバイアス（性別規範の決めつけ） 2) 名簿・席順・持ち物などの、不要な性別わけ 3) 制服・校則 4) 体育・プール 5) 部活・委員会や係活動 6) 行事（体育祭・文化祭・合唱コンクール・入学式・卒業式等） 7) 宿泊を伴う行事（合宿、修学旅行等） 8) トイレ 9) 健康診断 10) キャリア教育・進路指導 11) 入学前・卒業後の対応

困りごとの解消についてはどのようにしたいと希望しているのか、聞き取りましょう。その時、「その解決方法は難しい」などの判断をしたりすることは避け、次のステップにつなげましょう。なおすべての困りごとを同時に取り扱うのは難しい場合もあるため、本人が最も困っていること・優先して解決したいことから順に整理しましょう。

本人が明言していないにも関わらず、「こう言っているなら、きっとトランスジェンダーだろう」のように決めつけたり、「それはレズビアンということ？」など、何かに決めるよう促したり、しないようにしましょう。記載に関しても本人が性のあり方を明言していない場合は「トランスジェンダー」「ゲイ」のような単語を勝手に当てはめることなく、本人の伝え方や使っている言葉を尊重してください。